

## どんぐり会意見交換会

開催年月日： 令和6年10月17日（木）

開催場所： 役場3階議員控コーナー

出席議員： 中村委員長・中田・伊藤・小笠原・堀切・立川・早苗・鈴木・梶澤議長

参加者： 森会長・田中副会長・浅見副会長・竹内さん・田口さん・柴田さん・武川さん・山崎さん親子・山中さん・川原さん（合計：11人）

記録者名： 中田

テーマ	意見交換内容
先進地事務調査報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰一人取り残さない防災対策について、取り組んでくれたことに嬉しく思う。</li> <li>・（避難訓練について）生活のルーティーンが決まっており、予定にないことを実施することに困難がある。普段通所する場所なら、職員もいて可能かもしれない。</li> <li>・障がい者に限らず高齢者でも避難所に行けない人がいるのではないか。また、避難所に指定されている総体の改修時に災害が起きた時はどうなるのか懸念される。</li> </ul>
障がいを持たれる方の生きづらさについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会福祉制度に移行する65歳以前に、日常生活支援を受けられることができる知的障害者向けの施設の拡充を望む。</li> <li>・最終的な目的は、芽室町内に「終の棲家」を得ること。</li> <li>・生活能力が低下した知的障害者の多くが、町外で生活の場を確保しなければならない現状である。</li> <li>・既存の施設に新たな機能を加えるなど、財政面を考慮した場合現実的であるが、空き施設の活用など町でも進めてほしい。</li> <li>・福祉人材の確保策</li> <li>・グループホーム拡充の計画の際には、日中サービス支援型を検討して頂きたい。</li> <li>・経済面の管理が自分で出来ないため何らかの制度が必要</li> <li>・子ども個別支援計画で小中から救い上げてもらい素晴らしい取組に感謝している</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50周年を迎え会員の高齢化が進むが、若い人が入って来ない。小さなグループは存在するが情報共有が必要。</li> </ul>

【対応】	<p>どんぐり会との意見交換の内容について、健康福祉課に報告し、情報共有した。</p> <p><b>（先進地事務調査報告での意見）</b>          避難訓練については困難があることも理解できる。健康福祉課として、参加の呼びかけを継続していくことを確認した。</p>
------	---

## 意見交換会等フォーマット

	<p><b>(障がいを持たれる方の生きづらさについて)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループホーム拡充について 障がい者福祉計画において、将来のグループホームのニーズを70人と見込んでいる。今後も、皆さんの声を伺い、建設を検討いただける民間にお伝えしていきたい。</li><li>・日中サービス支援型の制度検討について 日中サービス支援型の制度とは異なるが、「基幹相談支援センター」を令和7年4月1日に開設する予定である。ライフステージに応じた支援のスムーズな移行を目指しており、相談支援の充実を図っていく。</li><li>・福祉人材の確保策について 高齢者支援課において介護人材の育成を推進している。福祉サービスにおける人材確保についても、高齢者支援課と連携し取組を進めていく。</li><li>・経済面の管理について 成年後見人制度、社会福祉協議会の日常生活自立支援についての情報提供に努めていく。</li><li>・子ども個別支援計画について 子どもたちの特性を生かして次に繋げていくことは重要と考えている。(めむたち)</li></ul>
--	---